NO ４５５　　　　令和５年６月２２日(木)

３学年だより

夢の宅配便

３年学年主任
水野　喜代治

「修学旅行お疲れ様…日常の生活に戻しましょう！…。」

みんなで「修学旅行を成功させる！」という気持ちが伝わってくる良い旅行でした。起床から食事までの動きや、入浴から食事までの動きなど、時間通りに動くことができました。修学旅行のような行事では、自分のペースで動いてしまう生徒が出がちですが、全員が３日間しっかり意識して時間で動くことができていました。とても素晴らしいと思います。また、調子の悪い友達に対して優しく接したり、配慮したりする行動ができていました。 言われなくてもそのようなことができるところも良いなと感じました。二日目の夜に体調が悪くて保健室に指定した部屋で休む生徒が出たら、その近くの部屋の生徒は静かに過ごして、休んでいる友達に気を遣っていました。おかげでゆっくり熟睡して、体調不良の生徒は朝には元気なっていました。みんな良いところがいろいろな場面で見られた修学旅行は、学年修学旅行目標の「良い想い出をつくろう！」が達成できたのではないでしょうか。

今日は時差登校で、日常の学校生活が再スタートしました。体調が悪くなって、早退した生徒もいました。是非、早寝をするなどして体調管理に努めてください。また、修学旅行の楽しい雰囲気から学ぶ場所である学校での切り替えも意識して行ってください。修学旅行のおみやげで購入した、ブレスレットやネックレスを学校にしてきたりしないようにしてください。けじめをつけ切り替えを大切に、気持ちがふわふわしている人は、自分の部屋で「座禅」をするのもいいと思います。呼吸を数えながら気持ちを落ち着かせてください。延暦寺のあの空間を思い出して…